

シグマ研究委員会
核データ評価ワーキンググループ共鳴
パラメータ収集グループ会合議事録

日 時 昭和48年12月21日 13時30分～17時
場 所 日本原子力研究所東海研究所研究2棟222号室
出席者 中嶋龍三（法大），五十嵐信一（原研），浅見 明（原研），
吉田 正（NAGO），中川庸雄（原研）

議 事

1. 作業経過報告

前回会合において、共鳴パラメータ収集の方針として次の事が決められていた。

- (イ) 文献を集め、共鳴レベル毎にデータを並べた表を作成する。
- (ロ) 文献のリファレンスを表にする。

今回は各担当者が進めた作業の経過を報告しあい、問題点を検討することを目的としている。

始めに各担当者から経過が報告された。

a. ^{235}U (浅見)

現在表を作成中である。低いエネルギー領域についてはほぼ表ができる。

b. ^{238}U (中川)

BNL-325以前にさかのぼって文献を集め、データ点の非常に多いGlass 68を除いてすべて表に書き込んだ。リファレンス表の作成を始めたが未だ途中である。

c. ^{239}Pu (吉田)

KFK-120をまず表に書き込み、それ以後のデータを表に追加するという方法で作業を進め2文献を残して書き終えたところである。

表の作成方法等について検討を加えたが、各担当者の取った方法で今後も行う事が確認された。データを書き込む際データ測定者が自分で測定したデータ以外のデータをデータ解析に使用している場合はその値を()でかこむとか、測定者が、その値に自信のない場合、例えば $\ell = 1$ かもしれないという言い方をしている場合は'?'をつけて'1 ?'とする等の細部に亘って検討がなされた。

今後、今の作業を進め、リファレンス表まで作成し、49年3月末を目標に J A E R I - memo を出す。

2. 次回

2月7日か8日に行う。次回までに作業をほぼ終了させ、memo 作成に入る予定。

以上